

SENKEN

楽天ファッション・ウィーク21年春夏は、フィジカルのショー、デジタル配信ともに、作り手の思いがストレートに反映されている。コロナ禍の最中の制作で自分らしさやブランドの原点に向き合い、厳しい今だからこそファッションの楽しさを感じてもらいたいと、メッセージ性の強いプレゼンテーションが続いた。

楽天ファッション・ウィーク21年春夏

〈フィジカル〉寺田倉庫の広いスペースに作られた円形のシート、そこをモデルたちが楽しく軽やかに動きまわる。ファセッタズム(落合宏理)は、スポーティーでエアリーなラインをフィジカルのショーで披露した。ジャージーのボディースーツやトラックスーツなどスポーティーで快適なアイテムが充実する。トラックスーツはテラード襟になっていたり、背中がぱ



ファセッタズム

エアリーでスポーティー ファセッタズム

っきりと切り取られたり。チュールプリーツのチュートップのほか、トラックスーツの背中が軽やかなプリーツに切り替えられる。隠れテーマが「フーリガン」でもある21年春夏は、サッカーのチームマフラーをつないだコートがシグネチャーともいえるアイテム。トレンチコートには、子供の描いた絵がのせられる。

6月のデジタル発表と展示会では型数が少ないように感じたが、ファイアーマンコートやそのディテールを生かしたアイテムを追加したせいか、物足りなさは感じない。エアリーな雰囲気と動きやすいトラックスーツはファセッタズムらしさもありながら、快適さとスペシャル感を求める今の雰囲気をきっちり表現している。(小笠原拓郎)

イン(印致聖)は、球体の硬質なオブジェを背景に、柔らかな線のバランスでモダンな女性らしさを表現した。程よい量感で裾がエアリーにドレープするドレスは、肩の部分がキャミソールのようにカットされてセンシュアル。透け感と袖にボリュームを持たせたブラウスは大きなカフスできりりとした印象。ハイウエストのレギンスのようなボトムを合わせるなど、柔らかな女性らしさをマスキュリンなスパイスで変化させるバランスが光る。ローゲージニットに合わせたプリーツスカートは3配色を曲線で切り替えるなど、軽やかな動きを作り出すパターンも目を引いた。

〈デジタル〉ベースマーク(金木志穂)は、群馬県高崎市の梨畑を舞台にしたランウエーをデジタル配信した。その梓田農園からは甘い香りの梨とともにQRコードのインビテーションが届く。緑の葉が生い茂り、梨がたわわになる畑のなかで、シトラスイエローやオレンジ、ピンクの配色が映え、自然の色とコントラストをなす。着飾る楽しさと同時に、生きていること

ファッションの楽しさ、ストレートに伝える



イン

の喜びを感じさせた。エアリーなスクエアヘムのスカートや腰からドレープラインが流れるドレスが魅力的。前シーズンまではテラードのアイテムを軸にシャープさを強調していたが、メンズライクな部分を残しつつ素直な女性らしさが出てきた。ニットのポロシャツは、背中や袖にカットモチーフが入り、素肌がのぞく。そこに木漏れ日が差し込み、心地良い景色を印象付けた。

コーティー(柁泰佑)は、「コズミックデュアル」をテーマにユニセックスのスタイリングを光と影のコントラストを反映したフィルムをつないで表現した。モノクロのモードファッ



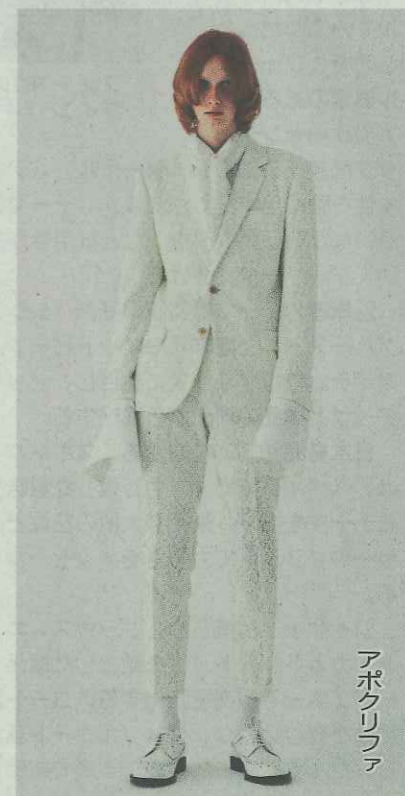
ベースマーク

ョンの写真集、クリーンな女性らしさを立たせた演出、鼓動を感じさせるグラフィックなど、ルックごとに異なる演出。フレア袖のドレスにかすれた線をプリントしたり、天然素材のコートに箔プリントを施したりと、柔らかさと異質な加工の組み合わせでモダンに見せる。素材や装飾、ドレープラインなどディテールの細やかさは伝わる一方、一つの動画で演出が変わりすぎてブランドのアイデンティティーが見えにくい。

メンズウェアのアポクリファ(播本鈴二)は都会の日常風景を背景に、テラリングの美しさを強調したショートムービーを配信した。レースで装飾したジャケットなど古典的な一面もあるワードローブを、リアルなファッションとして感じてもらいたい。そんな挑戦的な姿勢がうかがえる。若い男性が取り外しのできるカフスを強調したシャツを着てたずみ、縞レースのコートを羽織った男性が力強く踊る。(須田渉美、インは堀内智博写真)



コーティー



アポクリファ

パルコとバンタンのAFCが関連イベント NYコレ参加3ブランド選出

パルコとバンタンは10月15日、アジアの若手デザイナーを発掘し、起業を支援するプロジェクト「アジアファッションコレクション」(AFC)を開催した。今年2月のニューヨーク(NY)コレクションの関連イベントとしてランウエーショーを行う。

ヒカリエで開いた。楽天ファッション・ウィーク東京21年春夏の関連イベントとしてランウエーショーを行う。今年2月のニューヨーク(NY)コレクションの関連イベントとしてランウエーショーを行う。



鳥、植物…色にあふれる



〈デジタル〉ちょうど「ステイホーム」の期間中から準備することになったのがこの春夏のコレクション。ヒロコシノ(コシノヒロコ)はアトリエで絵画

